令和元年度大阪府立懐風館高等学校 第２回学校運営協議会

（日　時）令和元年１２月２０日（金）１５：００～

（場　所）本校　校長室

（参加者）大関　雅弘（四天王寺大学教授）

　　　　　高井　基晴（羽曳野市長公室理事）

　　　　　松村　章生（羽曳野市立誉田中学校校長）

　　　　　阪本　壮一（ぶどうの家社長）

　　　　　井上　　郁（本校ＰＴＡ会長）

　事務局　高橋　雅彦（校長）

　　　　　大邊　　明（首席）

　　　　　河﨑　徹巳（首席・総務部長）

　　　　　高橋　憲一（生徒指導部長）

　　　　　麓　　博之（進路指導部長）

〈次第〉

1. 校長挨拶

　　　　（各委員の自己紹介）

1. 会長挨拶
2. 議案

学校運営計画の進捗状況について（校長より）

* 1. 授業アンケートについての説明（資料参照）
	2. 遅刻統計について（資料参照：令和元年度４月から11月まで）
	3. 指定校推薦一覧（資料参照）
	4. 広報「はびきの」12月号　懐風館高校紹介記事（資料参照）
	5. 過去3年の進路実績（資料参照）

ご意見

* + 1. について

・学年別に分けた資料がほしい（各学年の傾向をさぐるべき）

・教員は結果に一喜一憂せずに自身を持って指導に当たってほしい。

　（生徒のレベルが高くなると批判的な生徒が増え、結果が変動する。また食いつきの悪い生徒が増えても結果に変動が現れる。）

* + 1. について

・２学期に遅刻が増えている。

・定期テストのある月の遅刻は少ない。

・雨の時期は遅刻が増加傾向にある。

* + 1. について

　・一般入試まで頑張ると学力が向上する傾向にある。共通一次以前は、３月までしっかり受験勉強を行っていた。

* + 1. について

・本校は立地条件については不利であるが、田舎であることを逆手にとってアピールすべき。

・地域に根ざした高校。古きよき時代の校風が残っている。

* + 1. について

・特になし

1. その他

　　　　〇「保護者の声」をHP等に載せられないか。

　　　　〇体験入学については歓迎ムードが足りない。

　　　　〇指定校が増えると中学生の保護者に対するアピールになる。

　　　　〇クリーン作戦は非常によいイメージづくりになっている。

　　５．閉会挨拶（校長）